

# 手遅れになるまえに相談を!

専門家が秘密厳守で相談にのってくれます。



子供がスマートフォンで薬物について検索していたのを見つけて…

最近、子供の様子が変わります。目を合わせて会話をしなくなって…



## 薬物について相談できる窓口はこちら

北海道	北海道厚生局麻薬取締部 北海道医務薬務課 北海道立精神保健福祉センター 札幌こころのセンター	☎011-726-1000 ☎011-204-5265 ☎011-864-7121 ☎011-622-0556	近畿厚生局麻薬取締部神戸分室 福井県医薬食品・衛生課 福井県総合福祉相談所 滋賀県薬務課 滋賀県立精神保健福祉センター 京都府薬務課 京都府精神保健福祉総合センター 京都市こころの健康増進センター 大阪府薬務課 大阪府こころの健康総合センター 大阪府こころの健康センター 堺市こころの健康センター 兵庫県薬務課 兵庫県精神保健福祉センター 神戸市健康福祉センター 奈良県薬務課 奈良県精神保健福祉センター 和歌山県薬務課 和歌山県精神保健福祉センター	☎078-391-0487 ☎0776-20-0347 ☎0776-24-7311 ☎077-528-3634 ☎077-567-5010 ☎075-414-4790 ☎075-641-1810 ☎075-314-0355 ☎06-6941-9078 ☎06-6691-2811 ☎06-6922-8520 ☎072-245-9192 ☎078-362-3270 ☎078-252-4980 ☎078-371-1900 ☎0742-27-8664 ☎0744-47-2251 ☎073-441-2663 ☎073-435-5194
東北	東北厚生局麻薬取締部 青森県医療薬務課 青森県立精神保健福祉センター 岩手県健康国保課 岩手県精神保健福祉センター 宮城県薬務課 宮城県精神保健福祉センター 仙台市精神保健福祉総合センター 秋田県薬務課 秋田県精神保健福祉センター 山形県健康福祉企画課 山形県精神保健福祉センター 福島県薬務課 福島県精神保健福祉センター	☎022-227-5700 ☎017-734-9289 ☎017-787-3951 ☎019-629-5467 ☎019-629-9617 ☎022-211-2653 ☎0229-23-0021 ☎022-265-2191 ☎018-860-1407 ☎018-831-3946 ☎023-630-2333 ☎023-624-1217 ☎024-521-7233 ☎024-535-3556 ☎03-3512-8690	中国 中国四国厚生局麻薬取締部 鳥取県医療・保険課 鳥取県立精神保健福祉センター 島根県薬務衛生課 島根県立心と体の相談センター 岡山県医薬安全課 岡山県精神保健福祉センター 岡山市こころの健康センター 広島県薬務課 広島県立総合精神保健福祉センター 広島市精神保健福祉センター 山口県薬務課 山口県精神保健福祉センター	☎082-228-8974 ☎0857-26-7203 ☎0857-21-3031 ☎0852-22-5259 ☎0852-21-2045 ☎086-226-7341 ☎086-201-0828 ☎086-803-1273 ☎082-513-3221 ☎082-884-1051 ☎082-245-7731 ☎083-933-3018 ☎083-902-2672 ☎087-823-8800
関東信越	関東信越厚生局麻薬取締部横浜分室 茨城県薬務課 茨城県精神保健福祉センター 栃木県薬務課 栃木県精神保健福祉センター 群馬県薬務課 群馬県こころの健康センター 埼玉県薬務課 埼玉県立精神保健福祉センター さいたま市こころの健康センター 千葉県薬務課 千葉県精神保健福祉センター 千葉市こころの健康センター 東京都薬務課 東京都立中部総合精神保健福祉センター 東京都立多摩総合精神保健福祉センター 東京都立精神保健福祉センター 神奈川県薬務課 神奈川県精神保健福祉センター 横浜市こころの健康相談センター 川崎市精神保健福祉センター 相模原市精神保健福祉センター 新潟県薬務課 新潟県精神保健福祉センター 新潟市こころの健康センター 山梨県衛生薬務課 山梨県立精神保健福祉センター 長野県薬務管理課 長野県精神保健福祉センター	☎045-201-0770 ☎029-301-3388 ☎029-243-2870 ☎028-623-3119 ☎028-673-8785 ☎027-226-2665 ☎027-263-1156 ☎048-830-3633 ☎048-723-3333 ☎048-762-8548 ☎043-223-2620 ☎043-263-3891 ☎043-204-1582 ☎03-5320-4505 ☎03-3302-7575 ☎042-376-1111 ☎03-3844-2210 ☎045-210-4972 ☎045-821-8822 ☎045-671-4455 ☎044-200-3195 ☎042-769-9818 ☎025-280-5187 ☎025-280-0111 ☎025-232-5560 ☎055-223-1491 ☎055-254-8644 ☎026-235-7159 ☎026-227-1810	四国 四国厚生局麻薬取締部 徳島県薬務課 徳島県精神保健福祉センター 香川県薬務感染症対策課 香川県精神保健福祉センター 愛媛県薬務衛生課 愛媛県心と体の健康センター 高知県薬務課 高知県立精神保健福祉センター	☎088-621-2233 ☎088-625-0610 ☎087-832-3301 ☎087-804-5565 ☎089-912-2393 ☎089-911-3880 ☎088-823-9682 ☎088-821-4966 ☎092-431-0999
東海北陸	新潟市こころの健康センター 山梨県衛生薬務課 山梨県立精神保健福祉センター 長野県薬務管理課 長野県精神保健福祉センター 東海北陸厚生局麻薬取締部 富山県くすり政策課 富山県心の健康センター 石川県薬務衛生課 石川県こころの健康センター 岐阜県薬務水道課 岐阜県精神保健福祉センター 静岡県薬務課 静岡県精神保健福祉センター 静岡市こころの健康センター 浜松市精神保健福祉センター 愛知県医薬安全課 愛知県精神保健福祉センター 名古屋市精神保健福祉センター 三重県薬務感染症対策課 三重県こころの健康センター	☎025-232-5560 ☎055-223-1491 ☎055-254-8644 ☎026-235-7159 ☎026-227-1810 ☎052-961-7000 ☎076-444-3234 ☎076-428-1511 ☎076-225-1442 ☎076-238-5761 ☎058-272-8285 ☎058-231-9724 ☎054-221-2413 ☎054-286-9245 ☎054-262-3011 ☎053-457-2709 ☎052-954-6305 ☎052-962-5377 ☎052-483-3022 ☎059-224-2330 ☎059-223-5241	九州 九州厚生局麻薬取締部小倉分室 福岡県薬務課 福岡県精神保健福祉センター 福岡市精神保健福祉センター 北九州市立精神保健福祉センター 佐賀県薬務課 佐賀県精神保健福祉センター 長崎県薬務行政室 長崎県こども・女性・障害者支援センター 熊本県薬務衛生課 熊本県精神保健福祉センター 熊本市こころの健康センター 大分県薬務室 大分県こころからの相談支援センター 宮崎県医療薬務課薬務対策室 宮崎県精神保健福祉センター 鹿児島県薬務課 鹿児島県精神保健福祉センター 九州厚生局沖縄麻薬取締支所 沖縄県衛生薬務課 沖縄県立総合精神保健福祉センター	☎093-591-3561 ☎092-643-3287 ☎092-582-7500 ☎092-737-8825 ☎093-522-8729 ☎0952-25-7082 ☎0952-73-5060 ☎095-895-2469 ☎095-846-5115 ☎096-333-2242 ☎096-386-1166 ☎096-362-8100 ☎097-506-2650 ☎097-541-5276 ☎0985-26-7060 ☎0985-27-5663 ☎099-286-2804 ☎099-218-4755 ☎098-854-0999 ☎098-866-2055 ☎098-888-1443
近畿	近畿厚生局麻薬取締部	☎06-6949-3779	● 全国各保健所 ● 各都道府県警察署	

保護者のみなさまへ

薬物乱用は「ダメ。ゼッタイ。」  
～子供たちを薬物乱用から守るために～

# 子供のまわりには 危険がいっぱい



子供たちの身近にあるスマートフォンやパソコンを使って、インターネットから危険な薬物が簡単に入手できてしまいます。うちの子に限って……と油断せず、十分に注意して見守ることが必要です。

## 子供を薬物から守る チェックポイント

子供の言動に変化がありませんか?

子供を取り巻く環境に目配りを!

- 帰宅が遅くなるが多くなった。
- 理由の分からないお金を欲しがるようになった。
- 食事を家族と一緒に食べなくなった。
- 目を合わせて会話をしなくなった。
- 子供にスマートフォン等を持たせている。
- 子供にインターネットにいつでも接続できるパソコンを使わせている。
- 子供が中学生・高校生と遊ぶことがある。もしくは、友達関係がよく分からない。

1つでも☑があれば注意が必要です!

## 薬物は子供の脳に ダメージを与えます。

私たちの脳は、すごいスピードで情報を処理し、心と身体をコントロールする優れた仕組みを持っています。しかし、薬物を乱用すると脳の仕組みにダメージを与え、乱用が続くと様々な障害を引き起こします。特に成長期にある青少年の脳は成人に比べて影響を受けやすいため、注意が必要です。

主な脳への障害



厚生労働省

〒100-8916  
東京都千代田区霞が関 1-2-2  
TEL:03-5253-1111 (代表)

薬物乱用問題についてさらに詳しくは  
厚生労働省ホームページをご覧ください。

厚生労働省 薬物乱用 検索

QRコードで  
携帯電話でも  
ご覧いただけます。  
(2020年度版)



厚生労働省

文部科学省

# 薬物乱用は身近な問題です。「うちの子には関係ない」と思っていませんか？

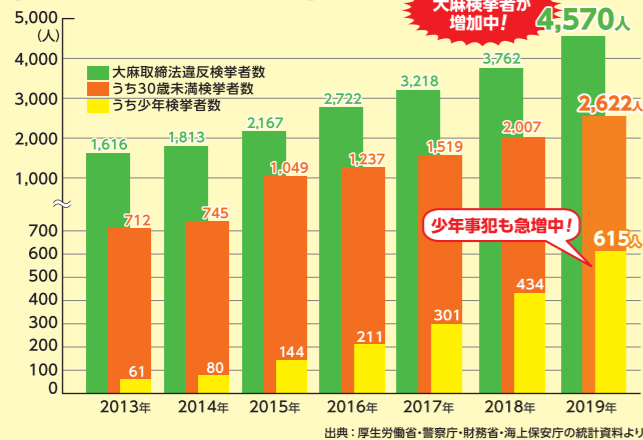
## 大麻で検挙される若者が急増しています！

ここ数年、大麻による検挙者が急増しています。2019年には大麻の検挙者数は過去最多の4,570人となり、そのうち半数以上は30歳未満の若者でした。なかでも急増しているのが**20歳未満の若者**で、2019年には6年前の10倍以上となる615人が検挙されています。

その原因の一つとしてインターネット等に氾濫している**大麻についての間違った知識や情報に、若者たちが影響されている**ことが考えられます。保護者のみなさまも正しい知識や情報を持って見守る必要があります。



【大麻取締法違反検挙人員の推移】



【初めて大麻を使用した動機(対象者631人・複数回答)】

区分	初回使用時年齢	20歳未満	20歳代	30歳代	40歳代	全体
好奇心・興味本位		64.0%	54.3%	57.8%	21.4%	58.8%
その場の雰囲気		21.3%	19.5%	13.3%	7.1%	20.0%
クラブ・音楽イベント等の高揚感		4.4%	6.0%	4.4%	14.3%	5.2%
パーティー感覚		1.1%	2.6%	2.2%	0.0%	1.8%
ストレス発散・現実逃避		2.8%	8.1%	8.9%	35.7%	5.9%
多幸感・陶酔効果を求めて		3.7%	7.0%	8.9%	14.3%	5.5%
その他		2.8%	2.6%	4.4%	7.1%	2.8%

出典：警察庁「令和元年における組織犯罪の情勢」より

## 大麻は身体への悪影響はない？ → **NO** 間違いです！



インターネット等で、「大麻は身体への悪影響がない」「依存性がない」などの誤った情報が氾濫しています。しかし、実際には大麻を乱用すると、大麻の花や葉に含まれる成分「THC(テトラヒドロカンナビノール)」が脳に作用して下図のような様々な影響があります。

**大麻の有害性は特に成長期にある若者の脳に対して影響が大きいことも判明しています。**間違った情報に流されず、正しい知識で判断しましょう！



大麻の乱用による影響		大麻の有害性		大麻を長く使い続ける影響	
<b>知覚の変化</b>	<b>学習能力の低下</b>	<b>運動失調</b>	<b>精神障害</b>	<b>IQ(知能指数)の低下</b>	<b>薬物依存</b>
時間や空間の感覚がゆがむ	短期記憶が妨げられる	瞬時の反応が遅れる	統合失調症やうつ病を発症しやすくなる	短期・長期記憶や情報処理速度が下がる	大麻への欲求が抑えられなくなる

## SNSでの薬物の誘いに注意！

近年、薬物が密売買される手段として危険が拡大しているのがSNSです。特にSNS上では大麻を意味する隠語などが使われ、大麻などの購入を促す内容が多く投稿されています。子供たちもそうした情報に簡単にアクセスすることができ、実際に未成年の学生がSNSを通して売人から大麻を購入した事件も複数報告されています。

SNSを通して違法薬物の売人と関わることは、多くの危険を伴います。子供たちがSNSを活用している場合は、注意して見守ることが大切です。

## 大麻の加工品や大麻を含んだ食品に気をつけて！

大麻から成分を抽出した「大麻リキッド」や「大麻ワックス」など新しいタイプの加工品の摘発も増加しています。また、海外でお土産として売られているチョコレートやクッキー、キャンディなどの中に大麻が含まれていることがあります。誤って口にして体調不良で救急搬送された事例も発生しているので十分に注意しましょう。



## 大麻のほかに乱用される薬物

覚醒剤



日本で最も検挙者が多い薬物。神経に作用して異常な興奮状態をもたらす。精神依存も強いので非常に危険です。

MDMA



知覚を変化させ幻覚が現れることがあります。大量に摂取すると高体温になり、死に至ることもあります。

## 医薬品も間違った使い方は乱用です！

**用法・用量を守って正しく使いましょう！**



医師から処方された薬や市販薬は用法・用量を守らないと副作用などが起きる可能性があります。また、処方された薬を他人に譲ることは大変危険です。海外で販売されている医薬品も偽造品などのリスクが高いため、安易な個人輸入は避けましょう。

## 「薬物乱用の危険」から子供たちを守るために大切なこと・心がけること

子供を薬物乱用の危険から守るためには、保護者が子供の日々の様子を注意深く見守ることが大切です。

子供が自分自身のことを大切に、悪い誘いを寄せつけず、もし誘われても断る勇気を身につけさせましょう。



危険な場所には近づかない、近づかせない！危険を感じたら、すぐ逃げるように言い聞かせましょう！



子供が自分自身を大切に、周囲の人や物も大切に思う心を育みましょう！